



宮澤 芳雄 議員



過疎債を活用した廃校改修を

問 干潟地域の小・中学校の統合はいつ頃か。また、統合後の廃校の利用計画はあるのか。

答 小学校は地域の同意が得られた場合、5年程度の期間を要すると見込んでいる。(仮称)北統合中学校は用地取得や建設などの時間を要するが、10年以内に統合したいと考える。

廃校の跡地活用については、学校再編基本方針の中で、統合校のためのスクールバスのターミナル、学童施設、高齢者施設などに活用するとしているが、具体的には決定していない。

問 過疎債を利用して、廃校を「子どもたちの学びと体験の場」や宿泊施設として改修すれば、多くの利用者が集まり地域にぎわうと思うが、市の見解は。

答 県内各地の先行事例を参考にするとともに、干潟地域の特色を生かせるよう地域の方から具体的な提案をもらいながら、

有効活用できるよう検討したい。

指定管理後の雇用継続を

問 スポーツ施設の指定管理について、指定管理者の行う業務にはこれまでと同じサービスが求められる。総合体育館の窓口業務は、利用者が戸惑わないよう、これまでの経験と窓口業務に詳しい職員が引き続き勤務するべきと考えるが、雇用は守られるのか。

答 指定管理者募集要項に「指定管理者は利用者へのサービス向上に努めること」を明記している。また、審査基準にもスタッフ雇用の考え方として、既存スタッフ及び市内優先雇用を評価項目として採点することになっているので、現在雇用している会計年度職員の継続雇用については配慮されるものと考えている。



指定管理予定の旭市総合体育館

その他の質問事項
○スポーツ施設について

水道料金引き下げを

問 旭市水道料金は県内44市で上から6番目に高く、一番安い習志野市の2・3倍、県営水道の1・7倍だが、水道料金の引き下げについて本市の見解は。

答 旭市水道事業運営協議会に諮問したところ「現行どおりの料金で据え置くことが妥当」との答申があった。引き続き必要に応じて適切に対応していく。

市立図書館の移転について

問 市立図書館と県立図書館では役割が全く違うが、なぜ一緒に設置しているのか。

答 県から東部図書館移譲の打診があり、図書館の面積的、費用的なことを検討し、これを受けることにした。市民会館の廃止、解体の問題から、現在は東部図書館の一部を使用して市立図書館を開館している。同じ建物の中に併設されたことで、それぞれの特徴を生かした利便性の高い図書館

サービスの提供がされている。

海上野球場について

問 海上野球場は地元の方が自分達で造った野球場である。その敷地の半分を使って消防分署を建設予定だが、市の見解は。

答 野球場は市内に5か所あり、海上野球場は最も古い施設で老朽化が進んでいる。他の施設へ活動場所を移動してもらうよう、昨年度からスポーツ少年団役員と話し合いを続けている。

私道整備補助金の利用促進を

問 道路損傷や通行の妨害物発見のため、パトロールをどのように実施しているか。

答 幹線道路などを重点的に、週2回職員が実施している。**問** 団地や分譲地内の私道を整備するのに「私道整備補助金」が利用できるが、この事業をもっと進めるべきでは。

答 広報やホームページにより周知しているが、利用促進に向けて引き続き周知を図る。

その他の質問事項

○「原子力災害時における県外広域避難に関する協定」の締結後
○中央病院の中期目標・中期計画
○学校給食の無料化の実施